

会社案内

 株式会社 光電子技研

光技術と電子技術を融合して、新しいニーズを創り出す

■ 会社概要

名称 株式会社 光電子技研
所在地 北海道江別市野幌若葉町6番地の1 アイシティ若葉台B-205
連絡先 メール:ogawa@optoelec-engineering.com
URL http://www.optoelec-engineering.com/
設立 2008年7月25日
役員 代表取締役 小川 和人
取引銀行 北洋銀行 野幌中央支店



平成20年度「ビジネスプラン実現化支援事業」
プラン発表会・表彰式
2008年10月7日(火) 北海道庁 赤れんが庁舎

■ 会社沿革

2008年7月25日 株式会社 光電子技研 設立
2008年8月 国民生活金融公庫より創業融資を受ける
2008年8月 設計受託サービス事業を開始する
2008年10月 北海道主催の平成20年度「ビジネスプラン実現化支援事業」奨励賞受賞
2008年12月 光学材料向け2次元屈折率分布測定器の製造・販売事業を開始する
光学材料向け2次元屈折率分布測定サービス事業を開始する
2009年3月 光防災センシング機器事業を開始する

■ 企業理念

光技術と電子技術を融合して、高度で新たなニーズを創り出します。
光防災センシング技術により、私たちの生活の安全・安心を確保することを目指します。
高度な技術者を育て、自らも成長し、豊で安全・安心な社会の発展に貢献することを目指します。
環境に配慮したシステムソリューションを提供し、環境問題に取り組みます。

■ 品質・環境に対する取り組み



光電子技研は品質保証体系、QC工程、各種管理標準規定など、独自の品質システム/環境システムを構築し、品質管理には最優先で取り組んでいます。
また環境管理システム(Green調達)も導入し、電子部品の選択にあたってはRoHS対応を実施しています。
お客様からの要求に対し、厳格な品質保証と万全の環境対応をお約束します。



■ 事業内容

受託サービス

産学官共同で開発した高精度2次元屈折率分布測定器を用いて、レンズ・メガネ等の光学材料の屈折率測定の実施サービスを行っております。また、高精度2次元屈折率分布測定器の受注製造販売も行っております。
また、光通信機器・光デバイス・光防災センシングシステム関連の制御電子回路・組込みソフトウェアの設計開発の実施サービスも行っております。

光防災センシング機器の開発・製造・販売

災害発生を予知する手段として、光防災センシング技術による早期検知・診断等のシステムを提供し、私たちの生活の安全・安心を確保することを目的としております。
産学官共同開発で得られた光ファイバセンシングの実用化技術をもとに、防災光センサ機器の開発、製造、及び販売を行っております。製品としては橋梁、鉄道、トンネル向けの振動計、歪計や、河川向けの水位計を提供いたします。
光センサ部分には新開発の差動型FBGファイバセンサ方式を適用し、安価で実用性・耐久性に優れたセンシングシステムを提供いたします。
将来的には低軌道超小型人工衛星による経済的なデータ収集システムの構築も計画しております。

提供するサービス、技術の特徴

- 光技術と電子技術を融合して新たな技術を生み出すことが得意です。
- 国土交通省の防災現場で実証された光防災センシングシステムを提供いたします。
- 大学から生まれた最新技術を事業化しております。
- 高速なデジタル自動制御技術、組込みソフトウェア技術を駆使して、いろいろな光システムのソリューションを提供いたします。
- 産学官連携により人工衛星によるデータ収集システム等の宇宙技術のソリューションも提供いたします。

産学官での連携

産学官共同で開発した高度な技術の製品化・事業化を進めております。
産学官連携の体制により光技術分野・自動制御技術分野はもとより、土木工学分野、宇宙工学分野、バイオテクノロジー分野からの最先端な技術を提供し、お客様のご要望に柔軟に対応できるような体制になっております。
また、光防災センシング振興協会との連携も行っています。



株式会社 光電子技研

〒069-0831 北海道江別市野幌若葉町6番地の1 アイシティ若葉台B-205
<http://www.optoelec-engineering.com/> ogawa@optoelec-engineering.com